

平成26年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

「住民主役の支えあいのまちづくり ～安心して暮らせる地域を育むために～」を基本理念に誰もが住み慣れた地域で「お互いさま」の精神で、互いに助け合い、支えあって暮することができるよう、第3期地域福祉活動計画を基本に地域福祉の推進に取り組んで参りました。また、合併10周年の節目にあたり、今後の法人としての活動の在り方を考えるうえで「発展・強化計画」を全職員で検討し策定しました。

平成26年4月から平成27年3月までの主な事業は、次のとおりです。

I. 総合相談、支援事業の推進

1. 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業 専門員 : 2人 生活支援員 : 5人

・相談件数 延 2,567 件 (新規・既契約含む)

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延 141 回	延 572 回	延 55 回	33 人 120 件

・実利用者数 33 人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
新規	3	5	3	1	12
解約	2	1	0	1	4
総件数	8	9	11	5	33

*新規契約件数 12 件、解約件数 4 件 (うち成年後見制度移行件数 2 件)

(2) 生活支援員連絡会議 1 回

(3) 金銭管理、財産保全サービス事業 (市社協扱い) 契約件数 0 件

2. 貸付相談事業

(1) 生活支援の貸付相談件数 延 89 件

(2) 生活資金貸付総件数 (市社協扱い)

◆生活資金 (助け合い資金) 27 件 347,280 円

(3) 生活福祉資金貸付総件数 (県社協扱い)

◆緊急小口資金 1 件 75,000 円

(4) 緊急食糧給付 米 5 件 非常食 4 件

- (5) 生活福祉資金等貸付相談嘱託員の設置 相談員 5 人
- ・滞納世帯への訪問 128 回
 - ・償還延回数 32 件
 - ・償還額 127,000 円

3. 結婚相談事業 551,500 円

- (1) 相談状況 相談員 5 人
- ・相談日 毎週日曜日 午前 9 時～正午
 - ・相談場所 中央公民館 学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
47 日	延 116 件	86 人	18 件	4 件

- (2) 登録者同士のミニイベント
- ・期 日 平成 27 年 1 月 18 日 (日)
 - ・会 場 中央公民館 学習室
 - ・参加者 10 名 (男性 5 名、女性 5 名)
 - ・内 容 トークタイム、ティータイム
 - ・マッチング 2 組 (進行中 1 組)

(3) 三市町村結婚相談員連絡会事業 (東御市、長和町、青木村)

① 三市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会

- ・年間 (毎月開催) 13 回 参加人数 延 65 人

② 婚活講座の開催

- ・期 日 平成 26 年 6 月 29 日 (日)
- ・会 場 中央公民館学習室
- ・参加者 28 名 (出合いのイベントに参加する男性 13 人) 他結婚相談員等
- ・講 義 演題「なりたい自分になって」～ 恋愛と人生を、楽しもう！ ～
- 講 師 ながの結婚支援センター
結婚コーディネーター 溝端 勇二 氏

③ 出合いのイベント「ふれあいパーティーin 女神湖」

- ・期 日 平成 26 年 7 月 6 日 (日)
- ・会 場 立科町「ホテルアンビエント蓼科」 他
- ・参加者 29 名 (男性 15 名、女性 14 名)
- ・内 容 レクリエーション、会食等
- ・マッチング 3 組

II 地域福祉活動の支援、推進

1. おらほの地域福祉づくり事業

(継続支部) 2 支部 100,000 円

支部	目 的	取り組み内容
片羽	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備を行った。
県	災害時に向けた支え合いの体制づくり	①災害時の要援護者の把握や地域の支え合い体制づくりの整備 ②ご近所の助け合い活動の充実に向けた取り組み ③いきいきサロン活動の活性化

(新規支部)

5 支部

150,000 円

支部	目 的	取り組み内容
上八重原	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
中八重原	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
伊勢原	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
日向が丘	災害時支え合い台帳の整備	災害時に備えた地域の見守り、支援活動に向けた支え合い台帳の整備
田之尻	地域の絆を深める活動の充実	三世代が交流できる行事等を検討、実施し区民同士の交流をはかる

2. 支部福祉活動の支援

(1) 支部福祉活動助成金の交付 68 支部 2,140,500 円

(2) いきいきサロン等助成事業 1,035,230 円

・実施支部 48 支部 ・総参加者 9,563 人

事 業	会 食 会	茶 会	世代間交流
回 数	198 回	158 回	8 回
参加者数	6,165 人	3,145 人	253 人

(3) 地区別地域福祉懇談会

・総参加者数 283 人

・内 容 社協の事業説明、福祉運営委員の活動説明、支部ごとの懇談等

地区	開催日	場 所	人数
北御牧	平成 27 年 2 月 16 日 (月)	北御牧公民館	52 人
滋野	平成 27 年 2 月 20 日 (金)	滋野コミュニティセンター	60 人
祢津	平成 27 年 2 月 23 日 (月)	総合福祉センター	49 人
和	平成 27 年 2 月 25 日 (水)	和コミュニティセンター	67 人
田中	平成 27 年 2 月 27 日 (金)	中央公民館	55 人

(4) 福祉運営委員長研修会

・期 日 平成 26 年 5 月 17 日 (土)

- ・会 場 総合福祉センター 講堂
- ・参加者 福祉運営委員長 54 人
- ・内 容 ◆地域の支え合い活動について（DVD の上映）
 - ・福祉のまちづくり、いきいきサロンの実践事例
- ◆地域福祉活動の推進について
 - ・事務局から説明

(5) 地域活動援助講座

- ① いきいきサロンのための料理講習会 2 回
- ・講 師 東御市食生活改善推進協議会会員

期 日	テーマ	参加者
4 月 25 日（金）	少し手をかけて、おもてなしレシピに挑戦！	福祉運営委員 13 人
8 月 6 日（水）	夏野菜を彩りよく食べよう！～	福祉運営委員 19 人

- ② 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」 3 回
- ・講 師 花岡照江氏、田口文子氏

期 日	テーマ	参加者
11 月 1 日（土）	簡単！美味しい！メニュー（餃子等）	12 人
12 月 20 日（土）	手打ちそばに挑戦！	12 人
平成 27 年 2 月 7 日（土）	包んでホカホカ！（おやき等）	10 人

(6) 地域の絆づくり支援事業

- ・レクリエーション用品の貸し出し
(ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等) 152 件
- ・支部福祉活動の相談会 15 回
- ・サロンの開催支援 12 回

(7) 地域への出前講座 34 回

介護予防体操（レクリエーション）11 回	エンディングノート 9 回
権利擁護制度 2 回	認知症講座 4 回
	介護保険制度 5 回
	介護教室 1 回
ボランティア活動、他 2 回	

Ⅲ 福祉教育、ボランティア活動の推進

1. 福祉教育の推進

- (1) 福祉協力校の指定、活動助成（8 校） 400,000 円

<活動内容>

学校名	内 容
田 中	さんらいず・岩井屋・フォーレストの利用者との交流、書き損じ葉書・エコキャップの収集等
滋 野	地域のお年寄りとの交流、エコキャップ回収、保育園児との交流、「ともがき」との交流等

祢 津	こころ、ハーモニック東部との交流、祢津保育園との交流、ネットタイムで地域の方と交流、歌舞伎の発表等
和	和保育園との交流、盲導犬についてのお話を聞く会、県社協推薦図書購入等
北御牧	ケアポートみまき・北御牧保育園の訪問、福祉新聞の発行、通学路のごみ拾い等
東部中	道の駅「雷電くるみの里」の清掃、エコキャップ収集、総合的な学習等
北御牧中	講演会（高齢者理解）、書き損じ葉書・アルミ缶・エコキャップ・テレホンカード・牛乳パックの収集、通学路の美化、JRC 交流参加等
東御清翔高	全校クリーン作戦、募金活動、被災地（山田町）へクリスマスカード送付等

（２）福祉体験学習・福祉講演会

学校名	実施回数	講師	ボランティア	延人数	内 容
田 中	2 回	5 人	7 人	121 人	点字体験、手話体験、ハンドワーク体験
滋 野	2 回	3 人	14 人	92 人	車椅子体験、点字体験、アイマスク体験（対話型鑑賞）
祢 津	2 回	15 人	8 人	124 人	車椅子体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、点字体験、手話体験、福祉講演会
和	1 回	1 人	4 人	67 人	アイマスク体験、点字体験、福祉講演会
北御牧	4 回	8 人	20 人	167 人	手話体験、車椅子体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、点字体験
東部中	4 回	4 人	10 人	100 人	ユニバーサルデザイン調査（車椅子・手話・点字体験含む）、音訳活動体験
北御牧中	1 回	4 人		50 人	高齢者疑似体験

2. ボランティア活動の推進

（１）ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

- ・登録数 86 団体と個人ボランティア 68 人 延 5,831 人
- ・相談者数 1,870 人（電話 912 人・来所 924 人・訪問 34 人）
- ・相談件数 ボランティア依頼・受付・相談等 延 2,553 件
- ・ボランティア依頼件数 音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等 延 938 件

（２）ボランティア活動補助金の交付 31 団体 465,000 円

（３）ボランティア活動保険の補助 合計 640 人 90,750 円
 加入者数 Aプラン 35 人（天災Aプラン 16 人含）（社協負担 150 円）
 Bプラン 605 人（天災Bプラン 4 人含）（社協負担 150 円）

（４）ボランティア連絡協議会の活動支援 110,000 円

① 自然を楽しむ会（障がい者とボランティアの交流会）

- ・期 日 平成 26 年 6 月 16 日（月）
- ・場 所 立科町たてしなの里・「権現の湯」
- ・参加者 14 団体 73 人参加

② ボランティアセンター研修会

- ・期 日 平成 27 年 2 月 6 日（金）
- ・場 所 軽井沢町社会福祉協議会
- ・参加者 15 団体 36 人参加
- ・内 容 軽井沢町保健福祉複合施設「木もれ陽の里」見学、同社会福祉協議会所属ボランティア団体との交流

（５） 上小ブロックボランティアフォーラム

- ・期 日 平成 26 年 9 月 27 日（土）
- ・場 所 長門町民センター
- ・参加者 20 人（東御市参加者） 総参加者 117 人
- ・内 容 テーマ ～見て 聞いて 自分の活動を自慢しよう!!～
 - ・活動の発表（各 G でポスターの説明）
 - ・情報交換会 進行役 フリージャーナリスト 内山二郎 氏
補 助 長野県社会福祉協議会 湯田美明 氏

3. ボランティアの養成、研修

（１） 夏のボランティア体験教室

- ・期 日 平成 26 年 7 月 30 日（水）
- ・場 所 小諸市高峰高原
- ・内 容 障がい者との交流体験
- ・参加者 24 人（体験者 14 人・講師 4 人・協力者 4 人・社協 2 人）

（２） 音訳ボランティアスキルアップ講習会 4 回

- ・期 日 平成 26 年 6 月 12 日、9 月 9 日、10 月 15 日、11 月 13 日
- ・参加者 延 60 人
- ・内 容 図やグラフの読み方、朗読技術

講 師	元 S B C アナウンサー	大久保 知恵子 氏
	県社会福祉協議会登録講師	小田切 真佐子 氏

（３） 手話ボランティアスキルアップ講習会 4 回

- ・期 日 平成 26 年 9 月 13 日・10 月 4 日の午前・午後各 1 回
- ・内 容 ①初級者コース 2 回 ②中上級コース 2 回
- ・参加者 延 24 人

講 師	長野県聴覚障害者協会登録講師	矢野 吉江 氏 本木 理恵 氏
-----	----------------	--------------------

（４） 災害時ボランティア養成講座

- ・期 日 平成 27 年 3 月 14 日（土）
- ・会 場 総合福祉センター 講堂
- ・内 容 災害ボランティアセンター立上げ訓練
- ・参加者 78 名（ボランティア団体・民生児童委員・一般市民等）
- ・講 師 N P O 法人ローカル・コミュニティ 理事長 高田克彦 氏

(5) 福祉体験学習ボランティア養成講座

- ・期 日 平成 26 年 5 月 13 日 (火)、20 日 (火)、27 日 (火)
- ・会 場 総合福祉センター 講堂
- ・内 容 車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験
- ・参加者 ボランティア・一般市民等 延 33 人

4. ボランティアセンター運営委員会の開催

- ・期 日 平成 26 年 11 月 26 日 (水)
- ・参加者 10 人
- ・内 容 ボランティアセンターの現況と今後の課題について

IV 介護保険事業と障害福祉サービス

1. 居宅介護支援事業

要介護認定を受けた方が、各種サービスを利用しながら自宅で生活できるよう、サービス事業所との連携調整を図り、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成するとともに、継続的な利用者の心身状況や生活状況等の確認、サービス利用状況等の確認を実施した。

また、広域連合からの介護認定調査の受託、特定事業所加算算定事業所であるため、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組み、毎朝のミーティングを行う等ケース情報の共有、定期的な研修の実施等体制の強化を図った。

<活動状況>

ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	延	1,663 件
モニタリング訪問件数	延	1,663 件
要介護認定調査（広域連合から）	実績	65 件
担当者会議開催件数	延	162 件
アセスメント実施件数	延	162 件
事例検討実施件数	延	7 件
対応困難ケース受け入れ件数	延	24 件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）の作成件数> 利用実人員 186 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
26 年度	138	141	140	140	140	141	139	140	137	136	133	138	1,663
前年度	161	162	156	156	149	145	153	155	154	141	138	137	1,807

<介護度別ケアプラン作成件数>

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
件数	458	538	317	189	163	1,663
割合	27.5	32.2	19.1	11.4	9.8	100%
前年度	496	549	331	217	214	1,807

<研修実績>

4 月	・在宅介護の限界とは…
5 月	・生活支援の倫理と実践～生活支援におけるケアマネジメント～ ・ケアマネット部会：ケアプラン点検について
6 月	・地域包括支援システムにおける、介護支援専門員の役割 ・苦情対応実践講座 ・ケアマネット部会：グループワークで事例検討
7 月	・ケアマネット部会：グループワークで事例検討（ケアプラン作成）
8 月	・介護保険事業所研修会 ・ケアマネット部会：グループワークで事例検討（担当者会議）
9 月	・ケアマネット部会：懇談会（認知症の支援について）
10 月	・在宅医療推進のための他職種連携 ・認知症高齢者対策 高齢者虐待防止講演会 ・ケアマネット部会：意見交換会（民生委員との連携）
11 月	・認定調査委員現任研修会 ・苦情対応システム研修会 ・ケアマネット部会：ケアマネとして利用者どう向き合うか
12 月	・福祉介護の接遇マナー ・認定調査員現任研修会
1 月	・介護保険事業運営に関する意見交換会 ・ケアマネット部会：グループワークでロールプレイ（担当者会議）
2 月	・認知症への正しい理解と予防対策 ・課題整理総括表・評価表を活用しての事例検討 ・ケアマネット部会：事業所視察研修
3 月	・ケアプラン点検 ・ケアマネット部会：認知症について

2. 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

（1）訪問介護・介護予防訪問介護事業

要介護又は要支援の認定を受けた方を対象に、訪問介護計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護及び生活援助等のサービスを提供した。

身体介護サービスの比率が高く、30 分未満・1 時間未満のサービス利用者が全体の 5 割を占めている。しかし、今年度の状況として早い段階で入院・入所される方や、死去される方などサービスが定着する前に動きのある方や、短期間の利用で終了となってしまう利用者が増加傾向にある。

○ホームヘルパー数 16 人

○利用総数 延 582 件

<介護度別利用者数>

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
26 年度	63	58	60	128	91	65	117	582
割合	10%	9%	10%	22%	16%	11%	22%	100%
前年度	55	91	56	110	79	59	156	606

＜月別利用者数 要支援Ⅰ・Ⅱ＞ 利用実人員 14人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
26年度	12	12	10	9	9	11	11	8	10	9	10	10	121

＜月別利用者数 要介護Ⅰ～Ⅴ＞ 利用実人員 59人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
26年度	34	34	37	36	38	35	43	44	43	40	37	40	461

＜サービス内訳＞

サービス名	予防介護		身体介護		身体・生活		生活援助		総合計	
回数 時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間
26年度	515	701	7,855	5,048	766	316	781	489	9,917	6,555
月平均	42	58	655	420	64	26	65	41	826	546
前年度	569	697	7,036	5,088	1,646	850	1,258	1,582	10,509	8,217

(2) 障害福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害程度区分認定を受けた方のうち、介護給付費支給決定を受けた方を対象に、居宅介護等計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護、家事援助及び外出時介助等のサービスを提供した。

利用者数はほぼ横ばいで推移している。介護保険事業と比較し、障害サービスは専門資格及び経験が必要であるため、研修の受講・資格取得等、今後どのようにしていくか検討が必要である。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
26年度	11人	90人	785回	1,169時間
前年度	6人	72人	659回	936時間
増減	+5人	+18人	+126回	+234時間

(3) 地域生活支援事業（移動支援事業）

障害程度区分認定を受けた方のうち、社会参加等外出に係る支援が必要な方に対しホームヘルパーを派遣して外出介助等の必要なサービスを提供した。

利用者数は少ないが、安定的な利用があり今年度の提供時間はほぼ横ばいで推移している。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
26年度	6人	33人	521回	797時間
前年度	4人	20人	72回	68時間
増減	+2人	+13人	+449回	+729時間

(4) ほほえみサービス事業（自費サービス）

制度外のサービスを希望される方に対し、ホームヘルパーを派遣し希望されるサービス

を提供した。

通院の介助（院内の付き添い）や、独居・老世帯の方の入院中の洗濯サービス等、制度では対応できないニーズへの対応を図った。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間	家事援助	通院介助	身体
26 年度	11 人	95 回	42 人	127 時間	64 回	20 回	11 回
前年度	13 人	99 回	31 人	85 時間	94 回	4 回	1 回
増減	－2 人	－4 回	＋11 人	＋42 時間	－30 回	＋16 回	＋10 回

（５）内部研修

毎月１回、ヘルパー全員参加での研修を実施し、サービスの質の向上や法令順守等の定期的な研修を企画・実施した。

認知症研修等必要とされる研修の他にも、日々の訪問業務の中で発生したトラブル等への対応も含め、その時々状況に即した内容の研修となるように努めた。

< 定例会議・研修実績 >

4 月	・事業所方針説明 ・障害特性の理解
5 月	・買物支援について（マニュアルの検討と作成）
6 月	・実技研修（入浴介助・移乗動作介助）
7 月	・感染症及び食中毒の発生の予防・蔓延防止について（外部講師）
8 月	・実技研修（シーツ交換と更衣介助・ポジショニングの理解）
9 月	・訪問場面での対応について（緊急時対応・スケジュール確認・薬関係）
10 月	・利用者・サービスに関する情報交換
11 月	・認知症の方への対応 利用者・家族への対応（倫理・接遇）
12 月	・伝達研修（福祉・介護の接遇マナー）
1 月	・対応困難事例検討（ある家族を通じてヘルパーとして考える）
2 月	・利用者・サービスに関する情報交換
3 月	・年度総括・法改正説明・利用者・サービスに関する情報交換

V 在宅福祉サービスの推進

1. 高齢者支援

（１）介護予防活動事業の運営（市受託）

4,368,358 円

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施日数	一日平均
介護予防センター（火・水・木）	39 人	1,129 人	135 日	8.4 人
ゆうふるプール教室（月）	13 人	400 人	49 日	8.2 人
筋トレ教室（火・木）3 教室	35 人	470 人	149 回	3.2 人

(2) 多世代交流サロン “おいでよサンサン”

- ・開催回数 合計 10 回 (H26.6～H27.3 各月 1 回)
- ・参加者数・・・延 176 人 (乳幼児 48 人含)
男: 41 人 (〃 14 人含) 女: 135 人 (〃 34 人含)
- ・内 容 子供から大人まで多世代にわたり交流する拠点づくりと高齢者の生きがいづくり、世代間の知恵の継承や情報伝達の間づくり

(3) 福祉用具貸与事業

316,760 円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	60	75
車椅子	72	134
マットレス・エアマット	61	74
ポータブルトイレ	35	28
その他 (歩行器等)	21	12
合 計	249	323
※車いすの利用件数の内、55 件は短期間の貸出件数		

(4) 寝たきり高齢者希望の旅事業

235,689 円

- ・期 日 平成 26 年 5 月 28 日 (水)
- ・場 所 上越市「上越市立水族博物館」「うみてらす名立」
- ・内 容 バス旅行、交流会、福祉相談
- ・参加者 要介護者 14 人 家族介護者 3 人
介助ボランティア 11 人 社協職員 2 人 計 30 人

(5) 在宅介護者リフレッシュ事業 (市受託)

371,341 円

- ・実施回数 3 回
- ・内 容 健康相談、介護技術講習、健康体操、介護者交流、元気回復等

実 施 日	場 所	参加者
平成 26 年 7 月 12 日 (土)	長野市 やきもち家	7 人
平成 26 年 11 月 21 日 (金)、11 月 22 日 (土)	群馬県 老神温泉	6 人
平成 27 年 3 月 28 日 (土)	東御市総合福祉センター	6 人

(6) 家族介護者サロン “太陽の会 “ 交流会

- ・期 日 平成 26 年 5 月 21 日、9 月 17 日、平成 27 年 1 月 21 日
- ・会 場 高齢者センター 大広間
- ・参加者対象者 22 人 延 29 人

(7) ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○こんにちは訪問事業 (安否確認事業) (市受託)

55,944 円

- ・9 支部 利用者実人数 13 人

- ・訪問活動者実人数 21 人
- ・ヤクルト配布本数 1,036 本

○ふれあい会食会 335,892 円

- ・期 日 平成 26 年 6 月 18 日 (水)
- ・場 所 上山田温泉 圓山荘
- ・参加者 一人暮らし高齢者 55 人参加

○おせち料理 183,737 円

- ・期 日 平成 26 年 12 月 29 日 (月)、30 日 (火)
- ・調理ボランティア 女性民生児童委員 延 49 人
- ・訪 問 担当民生児童委員 延 56 人
- ・対象者

合計	一人暮らし高齢者	父子家庭	高齢者世帯	障がい者世帯
121 世帯	104 人	1 世帯	9 世帯	7 世帯

(8) 介護講座「あった介護教室」

- ・テーマ “認知症介護に学ぶ”
- ・期 日 平成 27 年 3 月 28 日 (土)
- ・会 場 東御市総合福祉センター 講堂
- ・講 師 NPO 法人やじろべー理事長 認知症介護指導者 中沢純一氏
- ・参加者 支部長・福祉運営委員・民生児童委員・一般市民等 92 人

(9) 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業 (市受託) 550,377 円

- ・実施回数 2 回 (6 月 11 月)
- ・利用実人数 82 人
- ・利用者数 延 108 人
- ・利用枚数 196 枚
- ・対象者 寝具の衛生管理が困難な者

(10) 敬老祝賀事業

○金婚祝賀 祝品の贈呈 43,734 円

- ・金婚祝賀式典 平成 26 年 9 月 19 日 (金)
- ・該当者 37 組
- ・会 場 市総合福祉センター 講堂

○敬老祝賀 祝品の贈呈 775,000 円

- ・対象者 合計 243 人 (米寿祝 220 人・白寿祝 12 人・長寿祝 11 人)
- ・祝賀訪問 88 人 平成 26 年 9 月 24 日～26 日

2. 障害者支援

(1) 重度障がい者希望の旅事業 296,243 円

- ・期 日 平成 26 年 9 月 6 日 (土)
- ・場 所 信濃町「野尻湖遊覧船」「黒姫高原」他
- ・参加者 心身障がい者 15 人 介護者 6 人

ボランティア 13人 社協職員 2人 計 36人

(2) 福祉自動車貸し出しサービス事業 290,421円

- ・登録者 利用会員数 73人
- ・利用延回数 151回

(3) 障がい者福祉のつどい 105,596円

- ・期 日 平成26年11月29日(土)
- ・会 場 中央公民館 講堂
- ・参加者 福祉団体から 200人
- ・内 容

- ◆体験発表 『生まれてきて18年』 武舎 恵子 氏
- ◆座談会 『ユニバーサル社会の実現をめざして』
- 登壇者 公益財団法人 身体教育医学研究所 主任 岡田 佳澄氏
- 東御市障がい者団体協議会 会長 関 豊春氏
- 長野県障がい者福祉センターサンアップル 指導員 矢崎 萌斗氏
- 進行役 東御市社会福祉協議会 高岡 久章地域福祉係長
- ◆福祉団体交流会

(4) 視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援 522,750円

- 利用者 7人
- ・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他
- ・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

(5) 障がい者社会参加支援事業助成 200,000円

① 「みんなの健康×スポーツ・夏季イベント」

● 8月30日(日)

場 所	内 容	参加者
ケアポートみまき温泉 アクティブセンター	パラリンピック金メダリスト成田真由美氏 デモンストレーション、交流会	児童・保護者等、約100名
東御市民プール	市民水泳大会での成田真由美氏デモンスト レーション、 障がい者の水泳オープン参加	見学者約 120名 障がい者参加 5名 (視覚障がい者 2名 知的障がい者 3名)

② 「東御市体育大会・ユニバーサルスポーツ啓発イベント」

● 10月5日(日)

場 所	内 容	参加者
東御市第2体育館	チャレンジ・ザ・ゲームへの参加 ダブルダッチのデモンストレーション・体 験会	見学者 200名 体験参加者 116名 (内知的障害児者・家族60名)

③ 「みんなの健康×スポーツ・冬季イベント」

上田地域広域連合主催スポーツレクリエーション祭・冬の部 合同開催

- 平成 27 年 1 月 10 日（土）

場 所	内 容	参加者
上田市民の森スケートセンター	パラリンピック銀メダリスト上原大祐氏のアイススレッジホッケーデモンストレーション、体験交流会	見学者 約 2,000 名、 体験参加者 約 40 名

④ 「わくわくスポーツクラブ」

- ユニバーサルスポーツ “ボッチャ” 競技を中心としたクラブ活動

平成 26 年 5. 6. 7. 9. 10. 11. 12 月、平成 27 年 1. 2 月 計 9 回

場 所	内 容	参加者
みまきふれあいホール	“ボッチャ” 競技を中心としたレクリエーション活動	延 166 名 (障がい者 61 人・サポーター 59 名・スタッフ 46 名)

3. ひとり親家庭の支援

(1) ひとり親家庭交流支援事業

482,060 円

- ・期 日 平成 26 年 12 月 6 日（土）
- ・場 所 東京ディズニーランド
- ・参加者 22 世帯（大人 22 人・子供 25 人）

VI 社会福祉協議会の基盤強化

1. 法人運営組織体制の強化

(1) 理事会 (6 回)

回数・開催日	人数	上程議案
第 50 回 26. 5. 22（木）	13 人	・評議員の交替について ・平成 25 年度事業報告及び一般会計決算について ・評議員会の議題について
第 51 回 26. 6. 3（火）	14 人	・会長・副会長の選任について ・顧問の委嘱について ・常務理事の指名について
第 52 回 26. 9. 29.（火）	11 人	・平成 26 年度一般会計補正予算（第 1 号）について ・発展・強化計画の策定状況について
第 53 回 26. 12. 3（水）	13 人	・評議員の交替について ・平成 26 年度前期事業の概要並びに一般会計中間決算の状況について ・平成 26 年度一般会計補正予算（第 2 号）について ・平成 27 年度事業計画について
第 54 回 27. 2. 9（月）	14 人	・定款細則の一部改正の専決処分について ・評議員の交替について ・平成 26 年度一般会計補正予算（第 3 号）について ・発展・強化計画書について

第 55 回 27. 3. 20 (金)	14 人	・平成 26 年度一般会計補正予算（第 4 号）について ・経理規程の全部改正について ・発展・強化計画について ・平成 27 年度事業計画及び一般会計予算について ・評議員会の議題について
-------------------------	------	---

(2) 評議員会 (2 回)

第 27 回 26. 5. 26 (月)	26 人	・平成 25 年度事業報告及び一般会計決算について ・理事・監事の選任について
第 28 回 27. 3. 27 日 (金)	26 人	・理事・監事の交替について ・平成 26 年度一般会計補正予算（第 1 号）について ・平成 26 年度一般会計補正予算（第 2 号）について ・平成 26 年度一般会計補正予算（第 3 号）について ・平成 26 年度一般会計補正予算（第 4 号）について ・経理規程の全部改正について ・発展・強化計画について ・平成 27 年度事業計画及び一般会計予算について

(3) 監 査

○税理士による事前監査

平成 26 年 5 月 7 日 (水)

平成 26 年 10 月 30 日 (木)

○監事による監査

決算監査

平成 26 年 5 月 14 日 (水)

中間監査

平成 26 年 11 月 12 日 (水)

(4) 支部長会

・期 日 平成 26 年 7 月 9 日 (水)

・会 場 総合福祉センター 講堂

・参加者 61 人

・内 容 ① 平成 26 年度 社会福祉協議会の会費収納について
② 平成 26 年度 赤い羽根共同募金運動について

(5) 苦情対応

○第三者委員会の開催 平成 26 年 5 月 2 日 (金)

・委員の委嘱と職務・活動について

○苦情対応システム研修会 平成 26 年 11 月 19 日 (水) 2 人出席

○苦情受付状況 期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

区 分	件 数	内 容
居宅介護支援事業	1	担当ケアマネに関する苦情
その他	4	職場内の連携不足 会費の収納方法 会費の納入

(6) 10周年記念事業の検討

・「発展・強化計画」の策定

合併後10年の歩みを振り返り、平成25年10月からプロジェクトチームを立ち上げ、まず法人の課題・福祉問題を話し合ってきた。

そして、出てきた課題を、①「法人の運営と経営」、②「財政基盤と経営」、③「地域福祉事業」、④「住民の立場に立った事業展開」、⑤「職員の専門性の向上」、⑥「介護事業の強化」の6つに分け、全職員がそれぞれ6つのグループに分かれて、出だされた課題を検討・協議を重ね、社協の使命・あり方についての計画の原案を作成した。

ア. 課題別グループ会議

①グループ 10回 ②グループ 6回 ③グループ 2回(4Gと統合)
④グループ 6回 ⑤グループ 12回 ⑥グループ 12回

イ. 全体会議 2回

期 日	内 容
7月22日(水)	発展強化計画とは何か、 計画の進め方・手順・スケジュール、策定委員会の持ち方
10月31日(金)	理事会提出した発展強化計画書の説明 理事会での指摘事項の説明

ウ. 策定委員会 6回

回 数	日 時	内 容
第1回	8月27日(水)	・課題別グループの検討状況 経営理念及び課題の振り分け ・計画書の作成方法について
第2回	9月12日(金)	・課題別グループごとの基本目標・具体目標・課題の具体的方向性の状況 ・今後の策定委員会の在り方
第3回	9月22日(月)	・課題別グループごとの基本目標・具体目標・課題の具体的方向性の状況の最終案 ・今後の策定委員会の在り方
第4回	10月27日(月)	・理事会を受けての計画書(案)について ・計画実行のための優先順位 ・今後の策定委員会の持ち方
第5回	1月26日(月)	・再度検討を重ねた発展強化計画書について ・計画実行のための優先順位 ・計画書の担当部署
第6回	3月2日(月)	・再度検討を重ねた発展強化計画書について ・計画実行のための優先順位 ・計画書の担当部署 ・計画書の進行管理の方法について

(7) 事務局体制の強化

・各種委員会(広報・研修・福利厚生・エコ)の設置・推進

2. 社会福祉の啓発

(1) 社協報「ほほえみ」(ボランティア情報「かわら版」含)の発行 2,127,600円

- ・発行回数 年6回 奇数月の16日発行
- ・発行部数 10,700部
- ・編集委員 3名

(2) 啓発パンフレットの作成、配布 189,000円

- ・「社協のしおり」、「地域福祉活動の手引」各600冊

(3) ホームページで情報発信

- ・ホームページアクセス数 3,636件
- ・[ホームページアドレス URL <http://www.tomisyakyo.or.jp>]

(4) 介護の日「福祉講演会」 50,820円

- ・期 日 平成26年11月8日(土)
- ・会 場 総合福祉センター 講堂
- ・参加者 総数 141人
- ・内 容 ◆講演 『認知症取材と認知症の母から思うこと』
講 師 信濃毎日新聞社編集委員 飯島 裕一 氏

(5) 福祉の森ふれあいフェスティバル(市民病院祭との同時開催) 350,000円

- ・期 日 平成26年10月25日(土)
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・参加者 参加総数1,000人(協力団体 50団体 ボランティア 300人)
- ・内 容
 - ① 福祉体験コーナーの設置(手話、点訳、車イス体験等)
 - ② 障がい者施設の作品を展示・販売、喫茶コーナーの設置
 - ③ ボランティア団体の活動発表(展示・体験・舞台)
 - ④ ふれあいコンサート
 - ⑤ 福祉協力校(市内小中学校)で取り組む福祉体験学習の紹介
 - ⑥ 模擬店

(6) 福祉のまちづくり講座

- ・期 日 平成27年1月17日(土)・31日(土)
- ・会 場 総合福祉センター 講堂
- ・参加者 延98人
- ・内 容 「ボランティアの原則、役立つレクリエーションの実践等」
「福祉」についてグループワークやボランティア活動状況の紹介等

3. 財政基盤の強化

(1) 社会福祉協議会への寄付

- ア. 現 金 総額 1,456,649円 個人10人 12団体
- イ. 物 品 19人・3団体
介護用ベッド 1台、シルバーカー 3台、ポータブルトイレ 3台

車椅子 4 台、タオル、毛布、シーツ、コピー用紙、テレホンカード
 軍手、切手・古葉書、杖、紙おむつ、尿取りパッド、古タオル、雑巾
 ウ. ウェス 59 件 (団体・個人)

(2) 社協会員の加入状況と会費の収納

会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合 計
人 数	6,013 人	1,128 人	174 法人	
金 額	6,016,500 円	2,256,000 円	1,630,000 円	9,902,500 円
25 年実績	6,036,500 円	2,382,000 円	1,570,000 円	9,988,500 円

(3) 新会計基準への移行処理

- 会計区分の設定（事業区分・拠点区分・サービス区分）と会計ソフトの対応
- 経理規程の全部改正
- 新会計基準に合わせた勘定科目の設定と予算編成

4. 研修事業・人材育成

(1) 役員研修

① 長野県社会福祉大会

- ・期 日 平成 26 年 9 月 10 日 (水) 15 人出席
- ・場 所 茅野市民館マルチホール
- ・内 容 式 典 表彰等 活動実践報告
- ◆講 演 「辛さにも恵まれ、幸せにも恵まれる」
講 師 金澤 泰子 氏 (翔子氏 揮毫)

② 社会福祉トップセミナー

- ・期 日 平成 26 年 8 月 8 日 (金) 13 人出席
- ・場 所 信州松代ロイヤルホテル
- ・研修内容
- ◆講 演 「地域包括ケア時代に社会福祉協議会は生き残れるか」
講 師 東北福祉大学大学院教授 大橋 謙策 氏
- ◆シンポジウム 「社協が取り組むコミュニティソーシャルワーク」
香川県琴平町・富山県氷見市・長野県茅野市社協

(2) 職員研修

① パソコン初級研修

11 人出席

- ・期 日 平成 26 年 11 月 26 日 (水)
- ・研修内容 「エクセルの基礎」

② 経理研修会

22 人出席

- ・期 日 平成 27 年 2 月 13 日 (金)
- ・研修内容 「基本的な経理の仕組み」

講 師 成澤会計事務所 成澤 優一朗 氏

③ 接遇・コミュニケーション研修

30 人出席

- ・期 日 平成 27 年 3 月 9 日（月）
- ・演 題 「またこの人と逢いたいを引き出す コミュニケーション術」
- 講 師 コミュニケーションアドバイザー 鈴木 優子 氏

④ 健康相談

平成 27 年 3 月 2 日（月）

健康診断を受けての健康相談 担当 全国健康保険協会保健師

⑤ 外部研修

- ・主任介護支援専門員研修 9 月～1 月
- ・介護支援専門員更新研修 5 月～8 月
- 経理研修、苦情対応実践講座、苦情対応システム研修、介護支援専門員実務研修、相談支援業務新任研修、精神障がい者地域生活支援研修会、安全運転管理者研修、新人職員研修、生活困窮者自立支援研修会、上小介護保険事業連絡会研修、社協活動実践研修、虐待防止研修、

⑥ 上小ブロック職員研修会

- ・期 日 平成 26 年 10 月 10 日（金） 10 人出席
- ・場 所 長和町老人福祉センター
- ・研修内容 講演 「黒曜石体験」

（3） 実習生の受入

相談援助実習	長野大学	4 名	（夏季	8 月 6 日～9 月 20 日）
	長野大学	3 名	（春季	H27.2 月 16 日～2 月 25 日）
居宅介護実習	上田千曲高等学校	2 名	（10 月）	
	佐久大学信州短期大学部	2 名	（10 月）	

（4） 職員の講師派遣

○介護職員初任者研修 1 名

- ・期 日 平成 26 年 5 月 27 日（火）
- ・対象者 信濃町介護職員初任者研修受講者 15 名

○介護支援専門員実務者研修 1 名

- ・期 日 平成 27 年 1 月 21 日（水）
- ・対象者 平成 26 年度介護支援専門員実務研修受講試験合格者 230 名

5. 連絡調整事業

（1） 福祉関係団体との連絡会議

- ・期 日 平成 26 年 4 月 23 日（月） 福祉団体長会議
- ・期 日 平成 26 年 10 月 6 日（月） 障がい者福祉のつどい実行委員会
- ・期 日 平成 26 年 12 月 12 日（金） 同 反省会

（2） 民生児童委員会との協働

地域福祉活動の周知・啓発・事業に関する協力

福祉活動に対する助成金の交付
理事会・全体会への出席

(3) 災害被災地支援

白馬村神城断層沖地震現地 災害ボランティアセンター支援

平成 26 年 12 月 1 日 (月) ～2 日 (火) 職員 5 人

Ⅶ その他の福祉活動支援

1. 共同募金支会事業

(1) 赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金の実施

平成 26 年 10 月 1 日 (火)

道の駅「雷電くるみの里」 田中駅前 ゆうふる t a n a k a

募金ボランティア 37 人

○福祉の森ふれあいフェスティバルで風船サービス、募金活動

協力者 東部中学校生徒

○戸別募金・・・行政区ごと支部長に依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み

市内小中学校 7 校へ福祉教育の取り組み依頼

○職域募金の依頼

東御市役所窓口及び職員、信州うえだ農協職員、東御市社協職員

○東御市振興公社 温泉施設へ依頼

○市内大手スーパー店頭へ依頼

○市内企業 (株式会社、有限会社等) へ依頼

○自動販売機募金 道の駅、湯楽里館、総合福祉センター

(2) 赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎平成 26 年度赤い羽根募金収納総額 6,577,050 円

<募金別内訳>

募金の種類	金額	内訳
戸別募金	6,090,863	6,839 戸
街頭募金	31,834	田中駅前、道の駅、ゆうふる
法人募金	107,000	20 法人
学校募金	61,199	市内 7 校
職域募金	66,496	
イベント募金	23,571	
店頭、窓口募金、預金利子他	24,613	前年度学校募金繰越分 11,736 円、募金用通帳預金利子 77 円含
送金合計	6,405,576	
自動販売機募金	171,474	県共募へ直送

収納総額	6,577,050	
------	-----------	--

(3) 共同募金会からの配分事業

◎26年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績 5,065,105 円

(平成25年度の収納額6,788,105円の実績から、東御市への配分金)

<事業別配分内訳>

事業	金額	事業	金額
地域福祉活動助成事業	1,000,000	ボランティア活動	520,000
障がい者への活動	230,000	啓発活動	1,600,105
児童への活動	505,000	多世代サロン	100,000
高齢者への活動	1,110,000	合 計	5,065,105

(4) 住民貸出用福祉自動車整備事業配分金

・車イス対応スロープ付き軽自動車1台 1,450,000 円

(5) 災害見舞金

・住宅火災 3 件 被災者4人 40,000 円

2. 日本赤十字社事業

(1) 日赤奉仕団総会及び社資募集会議

- ・期 日 平成26年4月25日(金)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 講堂
- ・参加者 67人
- ・内 容 奉仕団総会 研修会 社資募集について

(2) 社資募集総額

社員数 5,836 人 4,319,000 円

(3) 健康生活支援講習会

- ・期 日 平成26年6月16日(月)
- ・場 所 高齢者センター
- ・参加者 68人
- ・内 容 災害時における高齢者生活支援について
講 師 日赤長野県支部 指導講師 東條 美恵 氏
白石 真紀 氏

(4) 一日赤十字(炊き出し及び救急法講習会)

- ・期 日 平成26年8月25日(月)
- ・場 所 高齢者センター
- ・参加者 73人
- ・内 容 心肺蘇生法(AED講習) 非常食の試食

- ・講 師 東御消防署職員 救急救命士 3人 協力者 グリーンアルテミス 8人
- ※8月31日(日) 市の総合防災訓練で、各分団で非常食の炊き出し等行う

(5) 日赤奉仕団視察研修会

- ・期 日 平成26年11月7日(金)
- ・参加者 17人
- ・場 所 長野赤十字血液センター

(6) イベント協力 赤十字活動

○子どもフェスティバルで非常食(ハイゼックス)おにぎり体験 450食

- ・期 日 平成26年5月10日(土)
- ・協力者 9名

○福祉の森ふれあいフェスティバルへの協力

非常食(ハイゼックス)おにぎり体験 250食

- ・期 日 平成26年10月25日(土)
- ・協力者 11人

○「障がい者福祉の集い」の湯茶接待

- ・期 日 平成26年11月29日(土)
- ・協力者 3人

(7) 施設ボランティア活動体験 参加者33人

- ・期 日 平成26年11月25日(火)～11月29日(土)
- ・場 所 市内福祉施設 ケアポートみまき 10人、フォーレスト13人、
ハーモニック東部 10人

(8) 災害見舞

- ・住宅火災 1件 見舞金 10,000円
毛布 被災者3人 3枚

3. 東日本大震災の支援

(1) 被災者義援金 (平成26年4月1日～平成27年3月31日現在)

26年度	38件	500,060円
(23年からの合計)	1,028件	39,458,083円

4. 社会福祉団体活動の支援

(1) 福祉団体交流ゲートボール大会

- ・期 日 平成26年6月9日(月)
- ・参加者 6団体
- ・参加者 107人

(2) 福祉団体活動支援

1,560,000円

○身体障害者福祉協会 420,000円

○高齢者クラブ連合会 150,000円

○手をつなぐ育成会	120,000 円
○母子寡婦会	120,000 円
○遺族会	530,000 円
○更生保護女性会	60,000 円
○保護司会	160,000 円
合 計	1,560,000 円